

特色ある学校



工業教育を中心にした 文武両面での人づくり

熊本県立熊本工業高等学校
校長 山口俊介

1. はじめに

本校は明治31年、木工・金工・染織工の3科を設置し、熊本県における工業教育機関の先駆けとして創立された。

今年度で創立106年目を迎え、現在では、全日制課程10学科、定時制課程3学科を備え、工業界の全ての分野に対応できる技術者の育成を目指している。

三綱領「明朗真摯」「創意工夫」「友愛強調」のもと、校地面積12万3千 m^2 （4万坪）の恵まれた環境の中で育った卒業生総数は3万7千有余名に及び、全国各地で政治・経済・産業・教育・スポーツ界等で幅広く活躍している。地元においては「熊工」の愛称で親しまれ、本校に対する県民の期待は大きい。

設置学科〈全日制〉

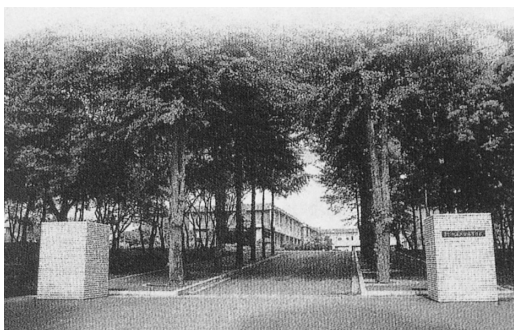
機械、電気、電子、工業化学、繊維工業、土木、建築、材料技術、インテリア、情報システム 以上10学科

〈定時制〉

機械、電気、建築 以上3学科

表1 平成16年度生徒在籍数

全 日 制			定 時 制		
男 子	女 子	合 計	男 子	女 子	合 計
991	253	1244	203	14	217



熊工正門の風景

2. 教育の重点

学校創立106年を迎え、その間本校は、工業教育の実践はもとより、スポーツや文化等の教育活動のさまざまな場面において、人間教育に力を入れてきた。特に、基本的生活習慣の確立と、部活動による人格の形成に重きを置いている。

基本的生活習慣の確立の原点は、年間を通じて行われる早朝7時からの登校指導にすることができる。元氣よく登校した本校生は、まず校門で発声挨拶や服装・頭髮の指導等を受けながら教師と会話を交わしている。そして、早朝課外活動や早朝練習に臨み、朝読書で気分を落ち着かせた後、授業や実習に集中していく。放課後の部活動は、大半の部が「優勝」を目指し切磋琢磨しながら厳しい練

習に打ち込み、個々の能力を高めている。

このような、人格の形成を柱にした人間教育が、不撓不屈の精神を養い、文・武両面に秀でた人間を育て、進路実績や野球部をはじめとする部活動の全国的な活躍等の成果に繋がっている。

これからの社会においては、自ら学び、自ら考え、生きる力を備えた人間が求められており、今後も、自信を持って人間教育に取り組みたい。

基本的生活習慣の確立の証は、本校の場合、皆勤生徒が多いことで窺い知ることができる。

表 2 平成15年度皆勤生徒

	1年生	2年生	3年生	全学年
皆 勤 徒	235	271	219	725
割 合	56.9%	66.1%	54.5%	59.2%

3. 本校の特色

(1) 工業教育について

県内には工業関係高校が14校あるが、創立の経緯から、本校がそのリーダー的役割を果たす責務を負っている。これまで熊本県内の工業教育を推進するため、工業高等学校長会会長校、高等学校教育研究会工業部会事務局、ものづくり学習協議会事務局、工業高校生徒研究発表会事務局、アイデアロボットコンテスト事務局、マイコンカラー大会事務局等を担当し、工業教育の振興に寄与している。

昨年度は、九州地区工業教育研究協議会事務局、日本工業化学教育研究会熊本大会事務局、西日本繊維工業教育研究会事務局等を務め、全国及び九州地区の工業教育の充実発展に貢献している。また、技能五輪国際大会金メダリストによる実技指導も開催した。

今年度から3年間「IT人材育成プロジェクト」研究指定校に決定している。

本校生の平成15年度の学習成果として、資



技能五輪金メダリストによる実技講習会

表 3

資 格	取 得 者 数
危険物取扱者乙種	391
第2種電気工事士	120
測量士補	54
システムアドミニストレータ初級	8
陸上特殊無線技士	6

格取得の状況を一部紹介する。

特に測量士補については、全国でも極めて高い合格率を示していることで、国土交通省からの学校訪問を受けた。

(2) 工業教育のもとでの進路指導について

近年、技術の高度化、生徒の進路ニーズの多様化、上級学校への進学希望者の増加、公務員志向の高まり等により、工業高校生の卒業後の進路は多様なものとなっている。

本校は、いち早く、このような社会状況の変化に対応する方策を講じ、企業などへの就職はもとより、国立大学や高等専門学校への進学、公務員希望者への対応等、さまざまな

表 4 進学・公務員希望者への対応

	進学希望者	公務員希望者
課 外	各学年 早朝課外実施	2年生10月から 早朝課外実施
模 試	1年生1回 2年生2回 3年生7回	2年生 3回 3年生 6回

表 5

	就 職		進 学			
	民 企	間 業 公務員	国・ 公立大	私立大	高専・ 短大	その他
H14 年度	165	35	24	63	34	56
	200(53.1%)		177(46.9%)			
H15 年度	178	48	21	57	23	75
	226(56.2%)		176(43.8%)			

実践を積み重ねてきた。

ここ数年、本校卒業生の就職者と進学者の比率は55：45の割合で推移している。表5が、進路実績である。

(3) 部活動面について

これまで、本校の部活動は体育系で野球部、陸上部、駅伝部、ラグビー部、バレーボール部、バスケットボール部、卓球部等が、県内はもとより全国大会で優勝するなど好成績を収め、数々の足跡を残してきた。また、近年では、ソフトテニス部、テニス部、ソフトボール部等も県代表になる等、めざましい活躍をしている。

また、文化部活動では、吹奏楽部や物理部が数々の全国大会への出場を果たし、化学部、美術部、囲碁・将棋部などが県内の各大会で最優秀賞を受賞するなど、着実な成果を上げている。



平成8年度高校野球選手権大会準優勝（甲子園）

表 6 部活動への参加状況

体育系部活動			文化系部活動		
部数	人数	率	部数	人数	率
20	771	62.3	17	351	28.4

このような成果が生まれるのは、素晴らしい力量を備えた指導者に恵まれていることと、県内を中心に各地から本校へ入学する能力の高い生徒がいるからである。そしてそれを支えているのは、体育系及び文化系部活動に加入している生徒が多いこと（90.7%）に依る。生徒たちが何らかの部活動に入学し、毎日充実した高校生活を送っていることは、本校教育の原動力になっていると同時に、中学生にとっては憧れの熊工を目指す目標の一つになっている。

(4) 高校入試にみる本校教育への期待について

表 7 本校への中学生の志願状況

年 度			H11	H12	H13	H14	H15
推薦入試	志 願 数		270	230	270	236	238
	倍 率		2.3	1.9	2.3	2.0	2.0
一般入試	志 願 数		548	456	440	457	480
	倍 率		2.0	1.6	1.6	1.6	1.7

本校への中学生の志願状況は、年度により多少の変動はあるが、平成11年度から平成15年度の入学志願者の競争倍率は推薦入試が1.9～2.3倍、一般入試が1.6～2.0倍で推移しており、中学卒業生数の変動による影響は、今のところあまり受けていない。この傾向から、本校は、中学生にとって進学目標となる高校であり、その責務は、生徒減少期においても大きいものがある。県を代表する工業高校という自覚を強く持ち、教育内容の充

実に努めることが求められている。

4. おわりに

現在、本校は「伝統の中で培われた校風を維持し、総合力に秀でた元気な工業高校」として高い評価を受けている。本校生の特徴として一言に言えることは、教師の熱心な指導に応え、自信と誇りを持って工業高校生としての学習を行い、部活動にも参加し、高い集中力を持っている生徒が多いということである。

しかし、今後、中学校卒業者がこれまで体験したことがない早さで減少することが予測される中であって、より一層特色ある教育を展開することが求められている。そのためには、長い歴史を持つ本校においても、今後の社会状況の変化に対応しながら、現在の活力を維持し、多様なニーズに応じた工業教育を中心にした人づくりを念頭に置く必要がある。

基礎学力を身に付け、何事にもチャレンジする開拓型の人材を育てていけるよう日々努力していきたい。

チャレンジライセンス

危険物取扱者テキストシリーズ

丙種危険物取扱者テキスト

Co.6374 B5判 128p. 定価800円

乙種4類危険物取扱者テキスト

Co.6372 B5判 152p. 定価800円

乙種1・2・3・5・6類危険物取扱者テキスト

Co.6376 B5判 136p. 定価950円

工業資格教育研究会

消防法改正に対応

別売問題作成CD-ROM **Co.6375** 丙種、**Co.6373** 乙種4類 各定価3,150円
(実戦問題・総合問題・模擬問題に補充問題を加え収録。丙種、乙種4類のみ)
※ご採用校には問題作成CD-ROMをサービスいたします。

- 消防法改正、危険物の規制に関する政令の改正、危険物の規制に関する規則の改正に対応。
- 学習内容について、出題のポイントにしばった簡潔な解説。
- 解説にはイラストを満載！わかりやすく展開。
- 計算問題には「例題」を設け、解法を解説。
- 実戦問題・総合問題・模擬試験など実力養成のための問題収録。
- 同一の問題を3回チェックできる解答欄。別冊解答は解説付き。

